

令和3年度 猪苗代町教育委員会

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書（概要）

1 教育委員会の点検・評価について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正が行われ、新たに教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、毎年点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないとされた。（法第26条第1項）また、上記の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされている。（同条第2項）

2 猪苗代町教育委員会の点検・評価について

（1）点検・評価の対象根拠

猪苗代町教育委員会基本目標に基づき、令和3年度の重点事項の執行状況を対象とした。

（2）令和3年度重点事項

別紙の通り

（3）評価の具体的な方法

①事業名

②項目

③達成目標・内容（数値目標）

④点検・評価（自己評価）

⑤有識者による意見・評価

（4）学識経験者の知見の活用

点検及び評価を行うに当たっては、教育に関する学識経験を有する者の知見の活用を図ることにより、客観性を確保するためのものであり、猪苗代町教育委員会の教育に関する事務の点検及び評価の実施に関する要綱に基づき、3名の委員の方々から様々な意見・指導を得ることができた。

① 外部評価開催日：令和4年8月26日

② 猪苗代町教育委員会外部評価委員 3名

3 点検・評価の結果

別紙の通り

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書【概要】

1 教育総務課

重点事項	充実した活力ある学習環境の整備		
事業名	1. 学校施設の長寿命化と適正配置		
主要項目	①町教育施設適正配置の推進 ②感染症対策等の学校教育活動継続支援		
自己評価	統合中学校の整備については、令和3年12月に新校舎が完成し、予定どおり進めることができた。また、小学校の統廃合についても保護者を対象に説明会を開催した。町内小中学校に感染症対策のタブレット端末充電保管庫、モニター等の備品整備が図られた。		C
外部評価	猪苗代中学校が取り壊される前に見れて良かった。また、小学校の統廃合事業について計画どおり進めてほしい。		C
重点事項	「生きる力」の基礎を培う教育活動の実践、支援		
事業名	1. 児童生徒に夢と希望を与え、生きる力の基礎を培う学校づくりの推進 2. 国際化、情報化等（変化）に対応する教育の実践 3. キャリア教育の推進 4. 生徒指導の充実		
主要項目	①存在感(特色)のある、学校づくりの実践、②「私たちの誓い6ヶ条」運動の実践 ほか		
自己評価	町特別支援教育アドバイザーの配置より、特別な支援を必要とする園児児童生徒の支援のあり方について助言を行うことができ、キレ目のない支援を推進することができた。中学校ではコロナの影響により3ヵ月程度の空白期間があったものの、ALTを派遣することにより、英語学習や外国語活動において担任をサポートし、より専門的な見地から児童生徒の支援をすることができた。新型コロナウイルス感染症の影響により、活動内容が制限されたものの、体験したことをもとにキャリア・パスポートを作成し、キャリア教育を推進できた。「猪苗代町いじめ防止対策基本方針に基づき、いじめの未然防止の取り組みを行った。いじめの認知件数はここ2年は減少しており、学校との情報共有や指導助言を通して、重大ないじめ案件には至っていない。		B
外部評価	体験学習や施設見学に町のバスが利用できるのは非常に助かる。支援が必要な児童生徒は多くいるので、統合してもいままでのように配置してほしい。いじめについても見逃しが無いよう、先生方の意識統一を図ってほしい。		B
重点事項	「確かな学力」を育む授業づくりの実践、支援		
事業名	1. 一人一人に確かな学力をつけさせる授業づくりの実践 2. 各学年、学級、個人の学力実態把握による授業改善の実践・支援 3. 一人一人の学習意欲を喚起し、やる気を育てる工夫、実践		
主要項目	①個人研究、校内研究の推進及び町学力向上推進事業による授業研究会、学力検査の実施と結果の分析・活用 ほか		
自己評価	コロナ禍のため、教職員を先進的な研修先へ派遣することはできなかったが、要請訪問や町合同授業研究会では、指導助言を通して教職員一人ひとりの授業力向上を図る機会にすることができた。町内小中学生の学力は調査結果によって違いがあるものの概ね全国平均であるといえる。国語科の授業においては、読むことについて、考えの根拠を示したり言語活動を取り入れたりした指導を展開していく。算数・数学科においては、基礎的・基本的な数学的・技能の向上を図るとともに、数学的な見方・考え方を押さえ、児童生徒が解決方法を説明したり、次につながる考え方や知識を身につけられるようにしたりしていくことが課題である。スペリングコンテストや各種検定を実施することにより、学習の基礎基本の定着を図り、目標をクリアすることで学習意欲を高めたり自信をもったりすることにつながった。		C
外部評価	先生方への研修の充実は重要である。学力は児童生徒の財産であり、授業でつまずきが無いように先生方のスキルアップを図ってほしい。また、学校の先生に任せてばかりではなく、先生のOB、地域の方と一緒にあった取り組みも必要と思う。		C
重点事項	「健やかな体」をつくる教育活動の実践、支援		
事業名	1. 児童生徒の体力、運動能力の増進 2. 家庭や地域、関係機関との連携による児童生徒の健康増進 3. 災害等緊急時の対応や放射線健康リスク管理に関わる危険予知・対処・回避能力の育成		
主要項目	①体力運動能力の増進、各種大会参加補助 ②食育の推進 ③交通安全教室や放射線教育の実施 ほか		
自己評価	本町の子どもの体力、運動能力の実態調査では、体力合計点5段階評価の下位層の割合が減少した。（小学男子13.2%、R2 15.4%、小学女子10.5%、R2 12.1%）その結果「体力合計点」は小学校、中学校ともに全国及び県平均を上回っている。朝食の摂取率調査（年2回）の結果、小学校99.4%、中学校99.6%と目標値を上回ることができた。各小中学校の緊急時対応マニュアルの取り組みにより、災害時の対応について学ぶことができた。また、通学路の点検を行うことにより児童生徒に危険箇所の注意喚起を図ることができた。		B
外部評価	体力づくりは地域や家庭を巻き込んで行ってほしい。朝食摂取率が100%に近づいており、食育の大切さ、防災教育も引き続き続けてほしい。		B

自己評価	A：大きく上回る	B：やや上回る	C：目標達成	D：やや下回る	E：大きく下回る
外部評価	A：期待以上	B：やや上回る	C：期待どおり	D：やや下回る	E：期待以下

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書【概要】

2 こども課

重点事項	充実した活力ある学習環境の整備		
事業名	1. こども園施設整備・修繕、教育保育備品整備事業		
主要項目	園児等の快適な教育環境を維持するため、施設の整備・修繕及び教育備品等の整備を行う。		
自己評価	ひまわりこども園は開園6年目を迎え、園舎の屋根や防犯カメラ配管の不具合が発生したが、適宜修繕を実施。さくらこども園は開園10年目を迎え、園庭の遊具や給食室のスチームコンベクションオープン等に不具合が発生したが、適宜、修繕を実施するとともに、備品整備や保育室の畳表替えを行い快適な教育・保育環境の維持に努めた。		B
外部評価	子供たちが安全に楽しく活動出来ますよう、環境整備と感染症対策を引き続きお願いしたい。		B
重点事項	「生きる力」の基礎を培う教育活動の実践、支援		
事業名	1. 園児に夢と希望を与え、生きる力の基礎実現を培う園づくりの推進 2. 変化に対応する教育保育の実践 3. 指導の充実		
主要項目	①存在感（特色）あるこども園づくりの実践②特別支援教育の推進 ほか		
自己評価	施設周辺の住民や自然に触れ合いながら教育保育を実施した。特別支援が必要な子どもには専属で保育教諭を交代で配置して対応し、障がい児支援の研修にも積極的に参加してスキルアップを図った。毎年、特別支援を必要とする子どもが増えており、体制強化を図る必要があるが、支援にあたる保育教諭の確保が困難な状況にある。集団での遊びや当番活動により、友達との信頼関係を深めるとともに人との関わり方を育んだ。また、日常の指導により就学前までに集団での行動、日常的なあいさつなどは、ほとんどの子どもができるようになった。		C
外部評価	特別支援の研修を増やしてほしい。先生方が自信をもてるような環境づくり、職員間のコミュニケーションも必要。茶道を通して日本文化に触れる機会もいいことである。		C
重点事項	「確かな学力」を育む授業づくりの実践、支援（学びの連続性ももてる保育環境作りの実践、支援）		
事業名	1. 一人一人に確かな学びの基礎を培う教育保育の実践 2. 一人一人の学びの意欲を喚起し、やる気を育てる工夫、実践		
主要項目	①共通テーマに基づく研究の実践、研修参加推進 ②幼小の円滑な接続の重視 ほか		
自己評価	少ない研修機会に多くの保育教諭が参加し、講演や他園の研究事例等を学習することにより、研修で得た知識を他の保育教諭と共有し、教育保育の現場での実践に役立てた。年長組が小学校へスムーズに入学できるよう、保育教諭と小学校教諭との引き継ぎ面談を行った。特別支援が必要な子どもの就学については、小学校、教育総務課及び保護者と連携を取り対応した。笑顔で元気に園生活を送ることを目標に、毎朝、リズム体操を実施し、活発な行動を促した。また、絵画コンクールに出品することで、絵を描く楽しさ、豊かな感性と表現能力を培った。		C
外部評価	新型コロナウイルス感染症により体験活動が減ったことは残念であり、来年度は出来ることを願っている。コロナによって出来なかったものが多いが工夫した活動をしてほしい。		C
重点事項	「健やかな体」をつくる教育活動の実践、支援		
事業名	1. 園児の体力、運動能力の増進 2. 家庭や地域、関係機関との連携による園児の健康増進 3. 災害時緊急時の対応や危険予知、対処・回避能力の育成		
主要項目	①体育的行事の充実 ②「早寝・早起き・朝ご飯」運動の実践 ほか		
自己評価	園庭や遊戯室を有効に利用し、日ごろから体を動かす遊びを取り入れて健康で元気な体づくりに努め、運動会ではその成果を十分発揮することができた。また、毎日の園生活を元気に怪我をしないで過ごすために、朝のラジオ体操やリズム体操を実施し、基礎体力の向上を図った。早寝、早起き、朝ごはん運動（園児の朝食摂取率100%）を推奨し、子どもたちが家庭や園で元気に過ごせるよう、生活リズムを整える重要性を保護者に周知した。避難訓練では、防災ずきんを活用し毎月様々な災害を想定し、それぞれに応じた回避能力を育成するよう努めた。		B
外部評価	朝食の摂取率100%は素晴らしい、小さい時から食育に努めてほしい。避難訓練を、予告なしで出来ることは素晴らしく今後も継続してほしい。		B
重点事項	「家庭の教育力」の回復		
事業名	1. 園、学校・家庭・地域社会の連携、協力体制の構築、推進		
主要項目	①こども園PTAによる各種事業、活動の推進 ②広報活動の実践 ③子育て支援 ほか		
自己評価	行事の運営にあたっては、多数の保護者の協力を得て、運動会や保育発表会などスムーズな運営をすることができた。朝夕の保護者との連絡・報告、園だよりの発行、連絡帳の活用等により信頼関係を構築することができた。また、子育て相談は、家庭事情や障害に関連するケースなど内容が多様化・複雑化しており保健福祉課や関係機関と連携して対応した。		C
外部評価	保護者との信頼関係は大事であり、信頼関係の構築はとても難しい問題なので、引き続き良好な関係構築に努めてほしい。保護者の送迎について、安全運転を周知してほしい。		B

評価基準
 自己評価 A：大きく上回る B：やや上回る C：目標達成 D：やや下回る E：大きく下回る
 外部評価 A：期待以上 B：やや上回る C：期待どおり D：やや下回る E：期待以下

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書【概要】

3 生涯学習課

重点事項	「豊かさや活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	1. 生涯学習の推進		
主要項目	①学習機会と情報提供、相談体制の整備 ②世代間交流事業の充実 ほか		
自己評価	新型コロナウイルスにより、中止した講座やイベントもあるが、感染予防対策や実施方法等について関係者で協議し、可能な限り開催した。放課後子ども教室については、コロナの状況を見据えながら学校や児童クラブなどとも検討を重ね地域住民のご理解ご協力により、安心・安全な体験を提供するように努めた。		C
外部評価	人生100年、退職後の方が時間が多くなる、生きがいのある生涯学習に努めてほしい。		C
重点事項	「豊かさや活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	2. 図書歴史情報館（和みいな）利活用の推進		
主要項目	①図書館サービスの充実 ②歴史情報室の利活用 ほか		
自己評価	年間の来館者数は、新型コロナウイルスの影響から目標に達しなかった。貸出冊数についても、11月に期間・冊数を元に戻した影響もあり、前年度より約2,400冊減少し、29,799冊となった。読み聞かせについては、一部の児童クラブで実施するなど徐々に始めることができた。ブックスタート事業、こども園や児童クラブなどへの図書の貸し出しについては、通常程度行うことができた。また、ガーナ展等、季節の行事に関連したイベントは感染症対策を取りながら実施した。		C
外部評価	コロナ禍で来館者、貸出冊数の減少は仕方ない、来年に期待したい。		C
重点事項	「豊かさや活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	3. 文化財の調査・保存・活用事業の推進		
主要項目	①史跡の調査、保存・活用 ②民俗資料の調査、収集・活用 ③埋蔵文化財の調査 ほか		
自己評価	文化財の保存と活用を図るため、県指定史跡である猪苗代城跡附鶴峰城跡を国指定史跡とするため、文化庁及び県教育委員会の指導を受け事業を進めている。民具の収蔵庫として利活用している旧猪苗代保育所について、歴史民俗資料館に用途を変更し、トイレ等の環境整備を行い令和4年度の開館が可能となった。		C
外部評価	専門職の常駐化は必要であり、町民及び観光客も見たくなる魅力ある施設にしてほしい。		C
重点事項	「豊かさや活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	4. 生涯スポーツの振興		
主要項目	①町民を対象にした各種大会や教室等の充実 ②総合型地域スポーツクラブの活用と体力の向上 ほか		
自己評価	各種大会や教室等の充実については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、町民球技大会、町民運動会は中止とした。町民球技大会・町民運動会については、開催方法等の検討が必要ではないかとの意見もあることから、見直しも必要と考えている。総合型地域スポーツクラブの会員登録数は391名であり、それぞれの活動を行っているが感染症対策を取りながら、イベントやこれまで利用が徐々に回復してきている。指導者の育成、各種セミナーや研修会の参加、公共スポーツ施設の整備、健康運動教室の開催等、生涯スポーツの振興に努めた。また、ホストタウン事業によるオリンピック、パラリンピック選手事前合宿受入事業や学校給食でのガーナ風料理の提供を行った。		B
外部評価	コロナで活動に制約がある中での事業実施は大変でした。公共スポーツ、施設の充実を図ってほしい。		B
重点事項	「豊かさや活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	5. 文化活動の推進		
主要項目	①町民主体の文化活動の充実 ②体験交流館（学びいな）の利活用の推進		
自己評価	例年開催している「ファミリーシアター」は、本格的な演劇を無償で鑑賞できるため、好評であった。新型コロナウイルスの流行によって体験交流協会などの事業が予定どおり開催されなかったが、団体の活動意欲が衰えることがないように見守り、支援しながら生涯学習の振興と啓発に力を入れていきたい。		C
外部評価	活動制限残念であり、ファミリーシアターは演劇に触れる機会であるので、今後も継続してほしい。		C
重点事項	「豊かさや活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	6. 地域を担う人材の育成		
主要項目	①絆づくり事業による交流の充実		
自己評価	「母から子への手紙」は、前年度応募者に対するPRハガキ送付に加え、問い合わせの対応に配慮したため、目標を上回る応募総数となった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演会や懇親会等を中止したが、それ以外でのおもてなしを徹底し、概ねご満足いただいたように感じた。次年度以降も交流活動等を通して、心の育成を図っていきたい。また、「思い出の絵手紙」では、新型コロナウイルスにより生活を制限された子どもたちが、思い出を見つけて描いてくれたことを嬉しく感じた。今後も関係機関と協力しながら心身の健全育成に努めたい。		B
外部評価	母から子への手紙は引き続き継続してほしい、子ども達の心を育む事業をしてほしい。		B

自己評価 A：大きく上回る B：やや上回る C：目標達成 D：やや下回る E：大きく下回る
 外部評価 A：期待以上 B：やや上回る C：期待どおり D：やや下回る E：期待以下